

# かながわの風 9

2015 Autumn

編集・発行  公益社団法人神奈川県社会福祉士会 <http://www.kacsw.or.jp>

## 社会福祉士は、 “わたしはこうしたい”を 支援します!

公益社団法人神奈川県社会福祉士会  
副会長 山崎 智美

『自分のことは自分で決める!』あたりまえのことに感じますが、これを実現することはなかなか難しいものです。ある人にとっては、自分で決めることができた時の達成感は幸福感にもつながるのではないのでしょうか。

昨今、地域福祉の領域では、地域包括ケアシステムが推進されています。その中では、住まいの選択や、人生の最期をどこで迎えるかなど、『自らの生き方・暮らし方』の選択が話題になっています。また、障害者の分野では、障害者権利条約の批准により、『意思決定支援』への関心が高まってきています。認知症や精神障害、知的障害などによって『自分のことを決めること』に支援を必要としている人や、生活困窮や家族関係、その人を取り巻く生活環境などから『決めにくさ』を抱えている人が増えてきている状況もあるでしょう。そんな社会情勢の中、私たち社会福祉士には何が期待されているのでしょうか。

最近、在宅医療の充実が話題となっていますが、私が所属する地域包括支援センターでも、病気等で入院した家族が在宅へ帰るときや、治療が終了し、終末期をどこで過ごしていくかの選択を医療機関から迫られているときなどに、今後のことを相談したいと窓口を訪れる方が増えています。『住み慣れた我が家で出来る限り過ごしたい』という思いと、『家族の負担にはなりたくない』という思いが、ご本人だけでなく家族や周囲の人も交えて揺れ動きます。そんなとき社会福祉士は、周囲の人も巻き込みながら、いかにその人自身が将来に向けて納得のいく選択が行えるかに配慮し、選択が行えるだけの情報提供と

環境の整理をおこなっていきます。結果、人は様々な場所で最期の時を迎えますが、自らが決めた場所で、ともに支え合ってきた人に囲まれながら過ごす時間の中では、人生の達成感を感じる人も少なくないのではないのでしょうか。

先日、日弁連人権擁護大会のシンポジウムに参加してきました。テーマは、「成年後見制度」から「意思決定支援制度」へ～認知症や障害のある人の自己決定権の実現を目指して～でした。当初、主催側が予定していた人数を大幅に上回る参加数だったので、関心の高さがうかがわれました。報告の中では、『意思決定支援』に対する、諸外国の取り組みや国内の状況、今後の『意思決定支援』のあり方などが検討されていました。

私たち社会福祉士の倫理綱領の中では、『利用者の自己決定の尊重』や『利用者の意思決定能力への対応』がうたわれています。また、行動規範の中では、社会の政策・制度の形成や社会における意思決定に際して、利用者が参加できるよう支援していくこととなっています。社会情勢が動き始めている中、『自分のことは自分で決められる社会』をめざして、時に利用者の代弁者として、また、時には伴走者として、社会福祉士が、利用者の思いに沿える専門職であると胸を張れるよう今後も支援していきたいと思えます。

### CONTENTS

- 02 ライフサポート事業
- 04 第23回日本社会福祉士会全国大会
- 06 理事会・代議員総会報告
- 08 研修カレンダー
- 08 生涯研修センターよりお知らせ
- 08 編集後記

# かながわ

## ライフサポート事業も丸二年。 三年目に入りました！

神奈川県社会福祉協議会 ライフサポート事業担当課長 大関 晃一

### 〈現代の縮図〉

かながわライフサポート事業を始めるにあたっては、様々なきっかけがありますが、そのひとつに2011年の横浜市旭区の親子のニュースがありました。70代の母と40代の知的障害のある子がともに亡くなるという事件でした。ひとりで歩くことや食事をするのが難しい子どもの身の回りのことは、すべて母が行っていましたが、病に倒れ、そして数日後に子どもも亡くなるという事件でした。私たちが、いつもの日常生活を送っているときに、人知れず2つの命がなくなっていました。

この事業を始めてみて、本当に様々な現状に向き合ってきました。もうお電話をいただいてか

ら一年以上が経ちますが、本名ではなく仮名でやりとりをしている方、老夫婦はそれなりの年金をもらっているが電気代やガス代が払えない世帯、そこには10年以上引きこもっている子どもたちがいました。それ以外にも、家賃の管理会社の執拗な取り立てに気持ちも滅入ってしまっている方や、片づけられないご自宅でわずかなスペースで生活する方などがいました。目を凝らして、耳を澄ましてみても、そういった方々の存在に難しい現代社会ですが、確実にそのような方々は存在し、そして声をあげられず静かに息を引き取っていく方もいるという現実があります。

### 〈ベースにあるのは“相談”〉

かながわライフサポート事業の根幹にあるのは「行って、見て、聞いて」という考え方です。時間を決めて窓口で待っているのではなく、SOSを発してくださった方のもとへ出向き、その場所ですごの方の暮らしぶりや表情を見て、そして何に困っていて、何を実現したいと思っているかを聞いていくことにあります。どうしても、食料と一緒に買いに行ったり、ライフラインの復旧のため

の費用をお支払いしたりする現物給付による経済的支援が注目されがちですが、そこにあるのは、何度も訪問したり同行したりして、その方との関係性を少しずつ構築していくコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の方々の地道な活動にあります。現在、約130名のCSWの方々が県内におり、日々実践を重ねてくれています。



## 〈多種多様な連携〉

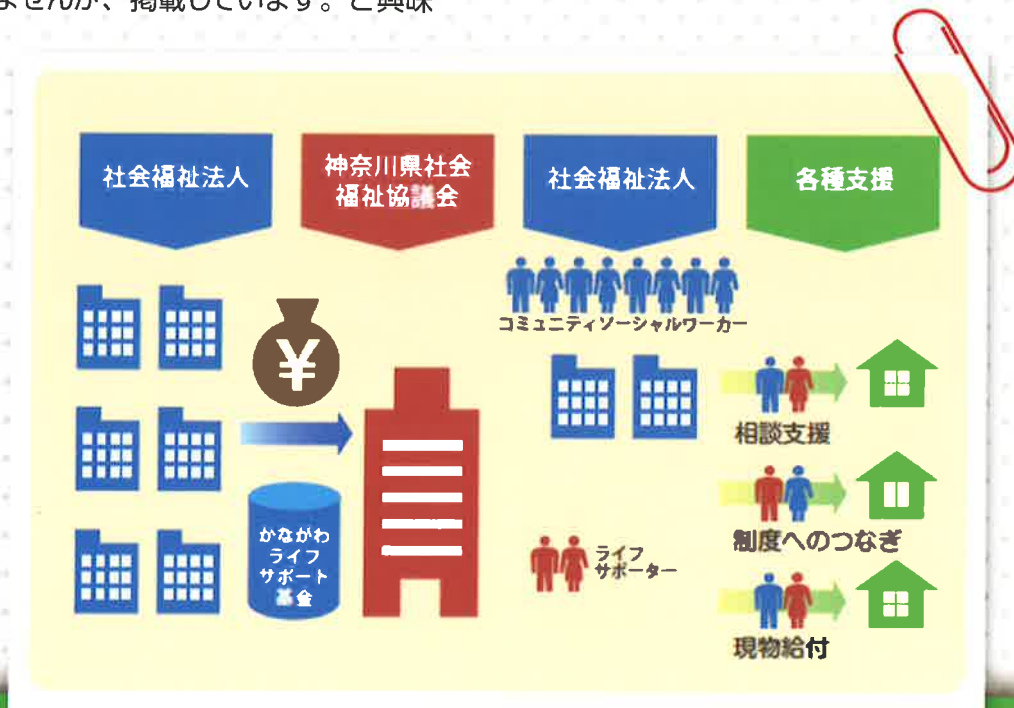
かながわライフサポート事業に参加して下さっている法人は現在60法人です。それらの法人の運営する施設や事業所は、高齢分野、障害分野、児童分野、保育分野、そして医療分野など多様です。普段は、それらの分野で活躍している皆さんなので、その道ではプロの方ばかりです。それらの方々が分野を超えて横のつながりを作っていくので、心強いこと間違いありません。年に6回開催している「テーマ別研修」や3ヶ月に一度開かれる「事例検討会」でCSWの方々は顔を合わせます。これこそが、1法人の社会貢献・地域貢献では実現しえない、この事業の醍醐味です。これにより、それぞれの法人が少しずつパワーを出し合って、それを結集して神奈川県内全域で展開できることに繋がっています。

一方、相談を寄せていただく方々の実現したい思いのためには、多くの関係者の方との連携も欠かせません。フードドライブという活動で食料を寄付して下さるたくさんの方々があります。冷蔵庫や洗濯機なども寄贈して下さる企業もあります。専門的な解決を伴う案件では、弁護士をはじめとした連携チームにサポートいただいています。また、それぞれの方々が暮らす地域の自治体や社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員の方の協力もとても大事になっています。ある民生委員の方が、「気になる世帯があるけど、一人では呼び鈴を鳴らせない。その後、ひとりで対応していくには負担が大き過ぎる。でも、CSWや他の方々とチームで対応できるなら、呼び鈴を押せます。」という言葉が今も心に残っています。

## 〈これからに向けて〉

かながわライフサポート事業では、参加法人や多くの方々に活動を知ってもらうために、毎年度、事業報告書を作成しています。平成25年度は55名、平成26年度は93名の方の本人なりの自立をサポートしました。それらの事例についても詳細ではありませんが、掲載しています。ご興味

がある方は是非、お問合せください。そして、多くの方に事業を知っていただき、またご協力いただき、今は資源として地域にはない取り組みも含め、一緒に考え、創っていきましょう。よろしく願いいたします。



## ～第23回日本社会福祉士会全国大会～ 社会福祉士学会 G分科会 自主企画シンポジウム

コーディネーター：西川ハンナ（研修講師）

シンポジスト：尾形淳子（横浜支部研修事務局） 濱田さやか（2014年度研修受講生）  
谷川 謙（2013年度研修受講生） 一色茂雄（横浜支部広報担当）

### 《社会福祉士の実践力の向上を目指す研修の仕組み》 ～支部の人材・地域性を活かした地域参加型の研修について～

社会福祉士会が企画する研修のなかで、実際の地域に入って総合的な実践力の形成を図るものがどのくらいあるでしょうか。神奈川県社会福祉士会横浜支部では4年前から地域をフィールドに実践研修を行っています。

社会福祉士が地域のヒト・モノ・関わりを活用して企画・運営・実施をする研修の意義と効果について、研修企画者・受講者・広報の立場から報告し、分科会参加者とのやりとりを通じて「支部らしい、研修受講者も研修企画者も生き生きと取り組むことができる仕組み」について討議しました。

本研修は3年間の実施とそのノウハウの積み重ねにより能動的な実践家の研修システムとして全国の社会福祉士へ報告できるレベルとなりました。シンポジウムでは全国社会福祉士会研修委員、本部事務局、社会福祉士養成校協会等の方々から、支部の人・地域資源・関わりを活用し社会福祉士として必要な力を形成していく研修手法である事、それを支える研修委員が評価され好意的なコメントをいただきました。この研修システムに関しては全国の県支部からも問い合わせがきています。このような企画ができる横浜支部の会員の層の厚さ、懐の深さ、ネットワークそして情熱を感じています。

西川 ハンナ

地域をフィールドに、地域のことは地域に聞こうとはじまった実験的な試みは地域の福祉活動を推進する皆さんに胸を借り、どんどんと深化しています。地域福祉活動をされている市民の皆さんに社会福祉士を知ってもらうことも狙った「横浜支部らしい研修」を目指しての積み重ねが、実践家が望む研修、実践家に期待される力をつけられる研修になってきたように思います。自分にとっては分科会やシンポジウムは、それこそ受身でしかなかったので「全国大会での発表なんて無理！」とと思っていましたが、この研修の仕組みをさらによくするために評価頂く機会ととらえて挑戦したことは、準備も含めとても有意義だったと思います。

尾形 淳子

#### 休み時間中に質問カードを記入頂きました。

- 研修を通じた、社会福祉士会の活性化や組織率向上についてどのように考えていますか？
- 研修開催までに何人位でどの位の時間を要しましたか？
- 長丁場の研修において、受講者や協力者のモチベーションはどうやって維持していましたか？

全国大会では2014年度の研修受講生として、「地域をフィールドにした研修の実際と受講成果」という内容で報告をさせていただきました。この研修では、先生を始め、同じ受講生、スタッフ、サポーター、地域の方々など、本当に多くの出会いと学びを得ることができました。地域を知り、人を知る、そして評価させていただくといった地域に出ることの意義について体感できるのが当講座の素晴らしさだと感じます。新人社会福祉士であり、施設職員である私にとって、これまで当講座に関わってこられた皆様おかげで、一連の流れで得た成果を地域や全国の社会福祉士に発信し、反応を頂けたことは大きな学びであり、今後の活動に生かしていきたいと感じます。

濱田 さやか

「他領域で働く社会福祉士が参加し・サポートする研修の意義について」と題し、一昨年の研修受講者として、また昨年の研修スタッフとしての役割やその意義について報告して参りました。社会福祉士は、私のような情報システム分野に限らず、多種多様な職業領域にいます。ソーシャルワークの定義においても「多様性の尊重」が謳われる昨今、社会福祉士自身も多様性を尊重し、様々な領域の社会福祉士が、ともにそれぞれの専門性を生かして活躍できる場の重要性を、改めて感じました。今後もこの研修を通して得た仲間や価値観を大切にしていけたらと思っています。

谷川 謙

横浜支部で取り組んでいる広報に関して、コミュニティソーシャルワーク実践講座をテーマとして、全国の社会福祉士の皆様に伝えさせていただきました。広報として取り組んでいることを、普段とは違い、声を出して、来ていただいた方に直接伝え、会場の雰囲気なども活用して、一味違った発表になったのかなと思います。

発表後、多くの方からご質問や問い合わせをいただき、私たちの活動を伝えていくための私たち広報の役割がとても重要だということを確認させていただきました。

今後も広報という役割から、社会福祉士の公益的な活動を発信していきたいと思っています。

一色 茂雄

### 【シンポジウム参加者の声】

- 仕事で地域向けの講座を度々開催するので広報の方法を検討するきっかけになりました。
- 社会福祉士養成校や地域の事業所とコラボをしていることを広げて行きたいと思いました。
- 新しい学びのスタイル、価値観を示していただき大変参考になりました。本シンポジウムに参加してよかったです。
- 能動的に参加する、学習・研修・スキルアップの方法を考えなくてはいいないと思いました。





# <会の動き 5月～10月 理事会総会報告>

## ◆平成27年度 第2回理事会 報告 平成27年5月31日(日) 16時～18時 ウィリング横浜12階123

議長山下会長を選任、理事出席16名 議事録署名人：平岡・松下理事、齊藤・江原監事

### <審議事項>

第1号 入退会について⇒承認

第2号 成年後見人養成研修(委託集合研修)業務委託契約について⇒契約締結承認、今後養成研修スタッフ増員が出来ればよいとの補足があった。

第3号 神奈川県社会福祉士会2014年度事業報告案について⇒内容確認し承認

第4号 神奈川県社会福祉士会2014年度決算報告案について⇒正味財産増減計算書内訳表、「法人の財務に関する公益認定の基準にかかる書類について」を確認、内容承認。山下会長より今年度決算を半期でみる事ができるように行いたいとのまとめがあった。

第5号 2015年度支部活動費助成(西湘支部申請)の交付について⇒承認

第6号 支部長変更に伴う委嘱について⇒県央・西湘・湘南東支部の役員体制承認。他支部、委員会事業部体制で未提出は次回までに提出要請。

第7号 規則類改正について⇒1 神奈川県社会福祉士会非常勤職員就業規則案、2 神奈川県社会福祉士会職員給与規則案、3 神奈川県社会福祉士会職員退職金規則案で承認。

### <協議事項>以下了承

①代議員総会議事及び開催内容、役割分担について 総会議事の確認をおこなった。②HPについて HP業者見積金額と広報事業部予算検討する。③神奈川県からの依頼「災害派遣福祉チームの検討に係る意見交換会」について 意見交換会には井上・尾形理事が出席する。④自殺対策事業での企画予定について 地域づくり型ゲートキーパー養成講座の実施案を確認

### <報告事項>以下了承

①かながわ避難者見守り隊事業委託見積合わせ結果について 本会は受託しないこととなった。②監事監査実施結果について5月20日監事監査実施。江原監事より会計面、齊藤監事より事業面での監査講評報告。③代議員選挙結果について(選挙管理委員会報告) 選挙管理委員長からの報告を確認 ④2015年度ソーシャルワーカーイベントへの参加と分担金支出について 今年度は各団体30,000円の分担金により7月19日にイベントを開催予定 ⑤本会推薦後援状況について 一覧を確認 ⑥平成27年度1回理事会議事録について 確認

## ◆第3回理事会 6月21日(日) 10時～11時30分 ウィリング横浜12階124・125(総会会場同室利用)

議長山下会長を選任、理事出席16名、議事録署名人：鈴木・一色理事、江原監事

### <審議事項>

第1号 入退会について⇒承認

第2号 実習指導者養成事業社会福祉士人材育成活用プロジェクト会議委員について⇒承認

第3号 支部役員・委員会事業部担当役員について⇒横浜・川崎・湘南西・相模原・横須賀三浦支部 承認。広報、組織向上、自殺防止対策の構成に一部変更があり、その確認をもって承認。

### <協議事項>以下了承

①代議員総会役割分担について 各理事分担表を確認 ②HP予算超過分の取り扱いについて 広報事業部のHP費用は、補正の際に対応する ③被災地バスツアーについて 現在参加応募人数21、催行人数に満たず再度呼びかけ実施。

### <報告事項>以下了承

①日本社会福祉士会総会について 6月20日(土)開催日本社会福祉士会総会の報告、山崎副会長が日本社会福祉士会副会長として承認され、山崎副会長より挨拶。小嶋氏は退任され、本多氏は3期目の監事に就任。その他、日本社会福祉士会では企画政策提言担当の職員が新たに採用されたとのこと。②弁護士会との連携について 6月2日弁護士会館にて正副会長及び総務企画会議理事参加し第1回目打合せ。今後土業の連携予定。次回は9月に打合せ開催予定。③平成27年度2回理事会議事録確認 ④2ヶ月報告及び本会后援状況について 確認 ⑤ばあとなあ名簿登録状況について 確認 ⑥各受託事業報告 各事業職員から報告

## ◆第4回理事会 7月22日(水) 19時～21時 神奈川県社会福祉会館 2階第2会議室

議長山下会長 理事出席17名、議事録署名人：山崎・井上理事 江原監事

### <審議事項>

第1号議案 入退会の審査について⇒承認(次回より支部ごとの集計人数も資料追加する)

第2号議案 ぱあとなあ名簿登録の審査について⇒承認

第3号議案 神奈川県からのかながわ感動介護大賞感動介護エピソード検証業務受託について⇒承認

**<協議事項>以下了承**

①役員研修会及び支部役員連絡会（9月12日開催予定）の内容について 役員研修会は、理事と支部役員を対象とし、講義内容を検討、テーマを権利擁護関係（仮）として、講師依頼を会長に一任。

**<報告事項>以下了承**

①社会福祉士全国大会（7月4・5日）開催報告について 横浜支部の発表した内容について理事から報告。山下会長より阿部志郎先生の講演が大変好評だった旨の報告。来年度は愛媛県開催予定。②第2回ソーシャルワーカーデーイベント（7月19日）実施報告について 未来のソーシャルワーカーへというテーマで、当日参加総数は84名。③被災地視察バスツアー（7月12日）実施報告について 無事に視察ツアーを終了した。アンケートの集計結果報告確認、8月1日振り返りの会実施。9月12日支部役員連絡会で報告予定。

その他 ・神奈川県災害派遣福祉チームの検討に係る意見交換会について 6月16日尾形理事井上理事が出席

④本会後援推薦（6月21日以降7月21日迄）について 一覧確認 ⑤会計6月分までの進捗状況について 資料確認 9月初旬補正予算作業実施、今後大幅支出入の変更等がある事業部については要連絡、その他 8月30日には理事対象会計研修予定。

⑥第3回理事会議事録について ⑦各委員会事業部 ⑧各受託事業進捗状況の報告について ⑨その他 日本社会福祉士会からの依頼「2015年度全国会議旅費の一部負担について」確認

その他

①次年度予算作成に向けて公益会計研修会（8月30日 午後）開催について 会場：県民センターを予定。理事向けの研修会として実施。②新パンフレットについて 意見交換

---

## ◆第5回理事会 9月12日（土）10時～12時 神奈川県社会福祉会館 2階第2会議室

---

議長山下会長、理事出席11名、議事録署名人：瀬戸・浅見理事、江原監事

**<審議事項>**

第1号 入退会審査について⇒承認

第2号 法人後見1・2の個人受任への移行について⇒承認

第3号 ぱあとなあ神奈川県名簿登録の審査について⇒承認

第4号 業務監督委員会委員の委嘱について⇒承認

第5号 県央支部幹事増員について⇒承認

**<協議事項>以下了承**

①広報ホームページ改訂について⇒担当理事欠席のため議事取り下げ次回10月24日の理事会に諮る

**<報告事項>以下資料確認了承**

①各都道府県社会福祉士会会長会議について ②会計研修会について ③会計7月分までの進捗状況について ④刑事弁護における社会福祉士等の紹介に関する協定書」及び「実施要綱」について ⑤各事業部委員会2ヶ月報告について ⑥委託事業の進捗状況について ⑦各推薦後援状況について ⑧第4回理事会議事録について

その他 ①午後開催の支部役員連絡会進行について 確認した。

---

## ■2015年度第1回公益社団法人神奈川県社会福祉士会 代議員総会 報告

---

平成27年6月21日（日）13時～15時17分 ウィリング横浜12階124-5

出席者数：40名（出席者26名+委任状による出席者14名）

議長：中島礼子・柏原雅典 議事録署名人：小野田潤・小泉昇※敬称略

来賓：成年後見センターリーガルサポート神奈川県支部副支部長、神奈川県介護福祉士会 副会長、神奈川県医療社会事業協会会長、神奈川県精神保健福祉士協会副会長、神奈川県介護支援専門員協会理事

**<総会議事>以下の議案を審議し質疑応答のち承認された**

第1号議案 「2014年度社団法人神奈川県社会福祉士会事業報告（案）について」

第2号議案 「2014年度（公社）神奈川県社会福祉士会決算報告（案）について」

（報告事項） 「2015年度（公社）神奈川県社会福祉士会事業計画（案）について」

（報告事項） 「2015年度公益社団法人神奈川県社会福祉士会予算（案）について」

第3号議案 「（公社）神奈川県社会福祉士会第2期代議員について」

報告事項 「神奈川県への社員名簿の提出について」



月	日	開始時間	終了時間	研修・講座等	概要	場所	主催	対象	費用
12	23	10:00	12:00	「多重債務・過剰債務 無料相談会」	借金や法律問題についての無料相談会 (事前申し込みにて、弁護士・司法書士等が対応します。)	小田原市民会館 (部屋は御相談者に別途郵送にてお知らせします)	生活困窮者支援ネットワーク委員会	会員他	無料
12	23	14:00	16:00	生活困窮者支援連続講座 第4回 「多重債務・過剰債務相談について」	多重債務者への支援方法を学ぶ。 講師：法テラス神奈川	小田原市民会館 6階 第7会議室	生活困窮者支援ネットワーク委員会	会員他	無料
1	30	14:00	16:30	公開講座「ソーシャルインクルージョン・地域での取り組みを聞く」(仮)	地域のお茶の間「さいとうさんち」 ～草の根的みんなの居場所づくり報告(予定)	詳細決まり次第 県士会のHPにて	湘南東支部	関心のある方	無料
2	10	19:00	21:00	川崎市における自殺予防対策について	講師：南里清香氏 (川崎市精神保健福祉センター) ※事前申込不要、当日会場へ	川崎市総合福祉センター(エポック なかはら)7階 大会議室	川崎支部	会員	無料
2	28	午後 (詳細決まり次第、HP掲載)	同左	コミュニティソーシャルワーク実践講座 第6回 地域向け報告会	地域のシルバー会活動を対象として学んだ受講者による、地域住民向け報告会	横浜市港南区内 (詳細決まり次第、HPに掲載)	横浜支部	関心のある方	無料
4	24	14:30	16:30	コミュニティソーシャルワーク実践講座 第8回 最終報告会	地域のシルバー会活動を対象として学んだ受講者による、最終報告会	横浜市西区福祉保健活動拠点	横浜支部	関心のある方	無料

## 生涯研修センターよりお知らせ

### 平成27年度実践発表大会

～地域で安心して暮らすために社会福祉士ができること～

神奈川県社会福祉士会のみなさん、日ごろの実践において、何を見、何を聴き、どんな支援をおこなっていますか。

日ごろの実践を通して感じていること、学んでいること、実践していることについて、発表・討議するなかで、発表者、参加者スタッフそれぞれの立場から、発表大会で得た事柄を実践に活かしていけることを目的に、平成27年度神奈川県社会福祉士会実践発表大会を開催します。

社会福祉士会の会員の皆様が行っている実践を知って、普段の業務に活かしていただくことができます。また普段の活動分野にとらわれず、ほかの分野の方の発表を聞くことで、社会福祉士としての支援の幅を広げることがもできます。

一年に一度の機会です。ぜひご参加ください。

**日時** 平成28年2月20日(土曜日)

13時～16時45分(予定)

**場所** ウィリング横浜 9階901号室  
(住所)横浜市港南区上大岡西 1-6-1  
ゆめおおおかオフィスタワー内

**参加費** 無料

神奈川県社会福祉士会では、実践発表大会で発表希望の方を募集しております。

現在新しい生涯研修制度が始まっていて、基礎研修Ⅰ～Ⅲをすべて修了すると、実践研究の基礎を体系的に学ぶことができるようになっていきます。今後社会福祉士として、様々な場面で実践していったことを伝え、みんなで考える場が求められるようになってきています。この機会にぜひ日常の実践を発表してみませんか？

実践発表大会の発表および実践発表大会の参加のそれぞれのお申し込みは、神奈川県社会福祉士会のホームページに掲載されます。そちらからは是非お申し込みください。

### 倫理綱領研修日程変更のお知らせ

前回かながわの風でご案内させていただいた、倫理綱領研修ですが、予定の平成27年12月12日に開催できなくなりました。ご予定いただいた方には大変申し訳ありません。

改めて日程をお知らせしますので、神奈川県社会福祉士会のホームページをご覧ください。



### 編集後記

かながわの風も第9号となりましたが、いかがでしたでしょうか。支部紹介のページは、8支部を一巡した為、今号ではお休みをさせて頂きましたが次号以降では、支部の動き等を、様々な形式でお伝えするべく、紙面企画を検討しています。更に現在、広報委員会ではホームページのリニューアルに向けて、検討を進めています。来年度以降は、紙面とウェブを連動させながら、情報の鮮度や密度をより高くし、タイムリーな情報を皆様へお届けできるよう精進して参ります。  
(広報委員長：日向 明)